

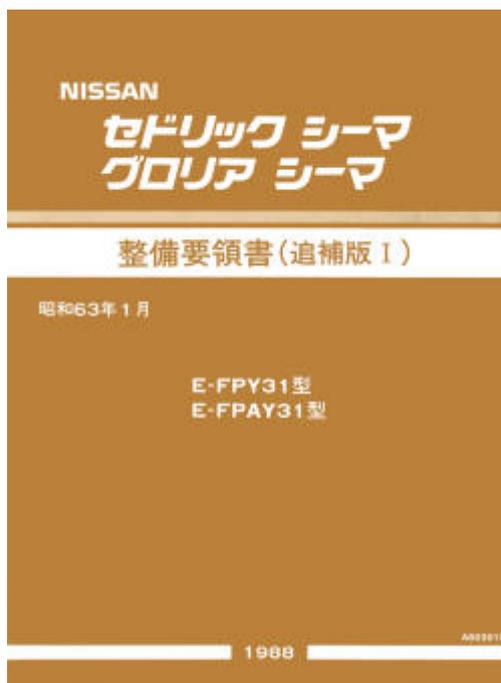
追加、削除、変更、訂正など

整備要領書の正誤表

Errata of the Maintenance Manual

(基本資料)

Y31シーマおよびY31セドリック/グロリアに適用

[上のページへ](#)資料コード→ [A003013](#) [A003015](#) [A003016](#) [A003018](#)

資料コード: A003013

NISSAN セドリック、グロリア 整備要領書
E-Y31型、E-PY31型、E-PAY31型、Q-UY31型
昭和62年6月 1987

ページ	項目	変更内容および訂正
B-75	B2 VG20DET・車載上のエンジン整備…タイミングベルト脱着 【ポイント13】タイミング ベルト張り調整	<p>オート テンショナーの Springs セット荷重変更のため、下記の通り訂正する。</p> <p>(ホ)オート テンショナーの後部をプッシュプル ゲージ(特殊工具)で約6kgで押し、ボルト3本を締め付ける。(たわみ量が基準値外になったときには、オート テンショナー後部押力を変える。)</p> <p>誤 (ト)A、B、C、D点に左図の鉄板を用意し、プッシュプル ゲージで中央を約5kgで押し、たわみ量を測定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> たわみ量：各点が6～7mm又は(5kg時) $\frac{A+B+C+D}{4}$ で6～7mm </div>

(ホ) オートテンショナーの後部をプッシュプルゲージ(特殊工具)で約Wkgで押し、ボルト3本を締め付ける。(たわみ量が基準値外になったときには、オートテンショナー後部押力を変える。)

(ト) A、B、C、D点に左図の鉄板を用意し、プッシュプルゲージで中央を約5kgで押し、たわみ量を測定する。

たわみ量：各点が δ mm 又は

$$\frac{A+B+C+D}{4} \text{ で } \delta \text{ mm}$$

・(ホ)のWkg及び(ト)の δ はオートテンショナーにより下記とする。

部番	識別色	W kg	δ mm
13070-45V00	白ペンキ	約7.5	5.5~6.5
13070-F6502	黄ペンキ	約6	6~7

正

B-230 B7 エンジン コントロール
2. ASCD
2-1 ASCD点検、調整
(3) 構成部品の点検
コントローラー(A/Tロックアップ
コントロールユニット制御出力)
の点検

下記の通り訂正する。
誤 A/Tロックアップ コントロール ユニット制御出力
正 A/Tコントロール ユニット制御出力

C-268 C12 ステアリング
7. 車速感应型電子制御オイル
ポンプ システム
7-1 概要
(1) 電気回路図

下記の通り訂正する。
誤 ブレーキSW
正 ストップランプSW

C-269 C12 ステアリング
7. 車速感应型電子制御オイル
ポンプ システム
7-2 故障診断
(1) 据切時ステアリング重い
診断のための予備知識

下記の通り訂正する(2カ所)。
誤 フット
正 フット

C-273 C12 ステアリング
7. 車速感应型電子制御オイル
ポンプ システム
7-2 故障診断
(2) 高速時ステアリング軽い
【ポイント2】 パワステコントロール
ユニット端子電圧点検

下記の通り訂正する。

端子番号				基準値(V)	条件
エアサスなし車		エアサス付車			
+	-	+	-	0以下と5以上を繰り返す	車両を極低速で動かす (車速信号)
③	②	③	⑪		

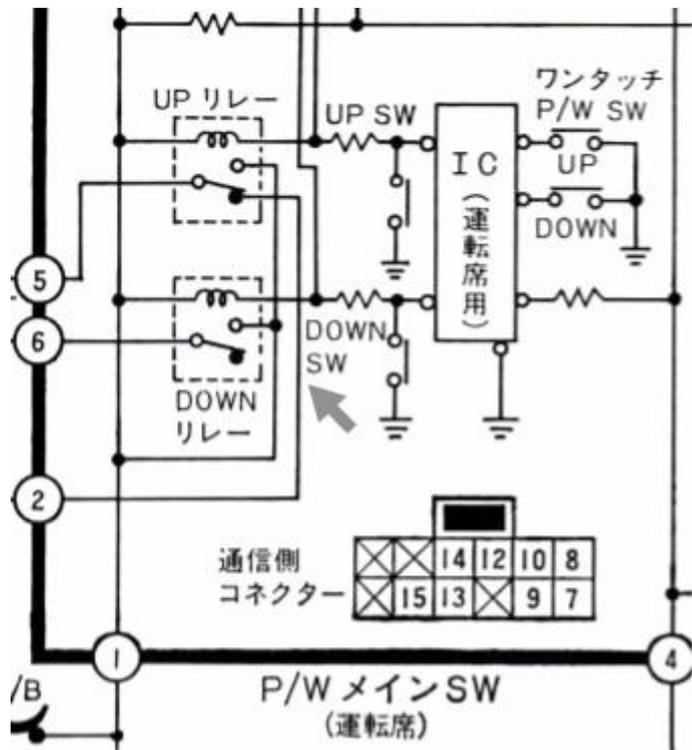
誤

端子番号				基準値(V)	条件
エアサスなし車		エアサス付車			
+	-	+	-	1以下と5以上を繰り返す	車両を極低速で動かす (車速信号)
③	②	③	⑪		

正

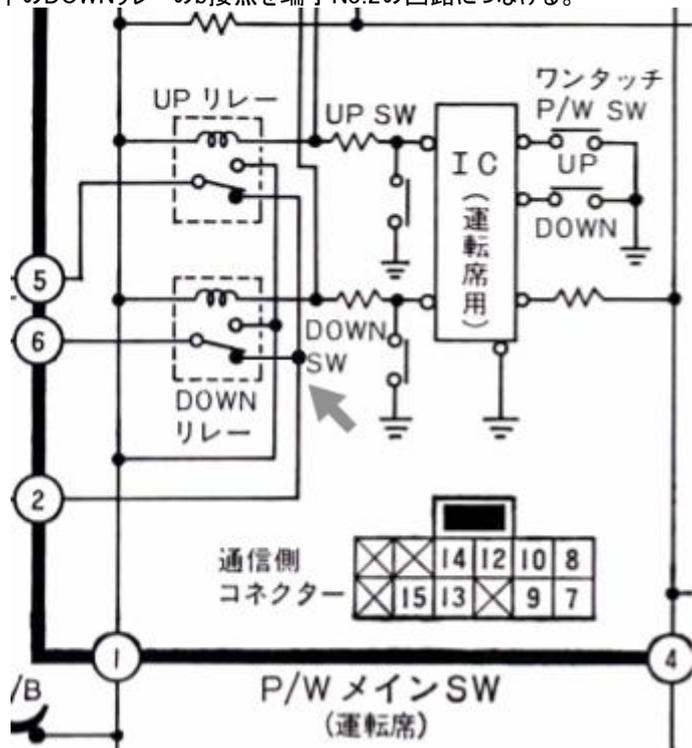
D-46 D3 開閉機構
5. パワー ウィンドー及び集中ド
ア ロック
5-3 回路図

下記の通り訂正する。
誤 回路図中のP/WメインSW(運転席)のDOWNリレーのb接点側の配線が抜けている。



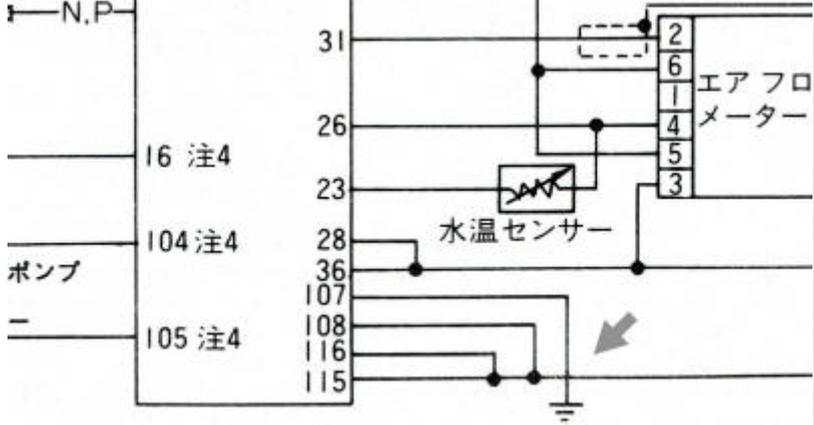
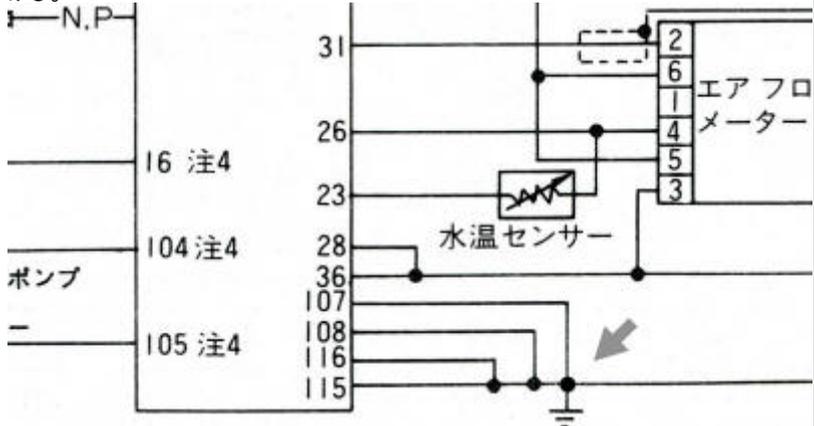
回路図中のDOWNリレーのb接点を端子No.2の回路につなげる。

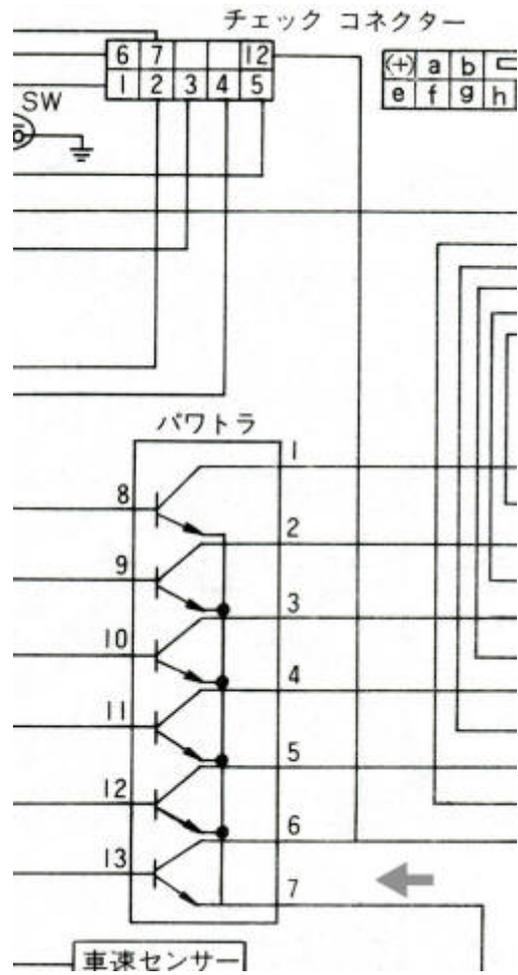
正



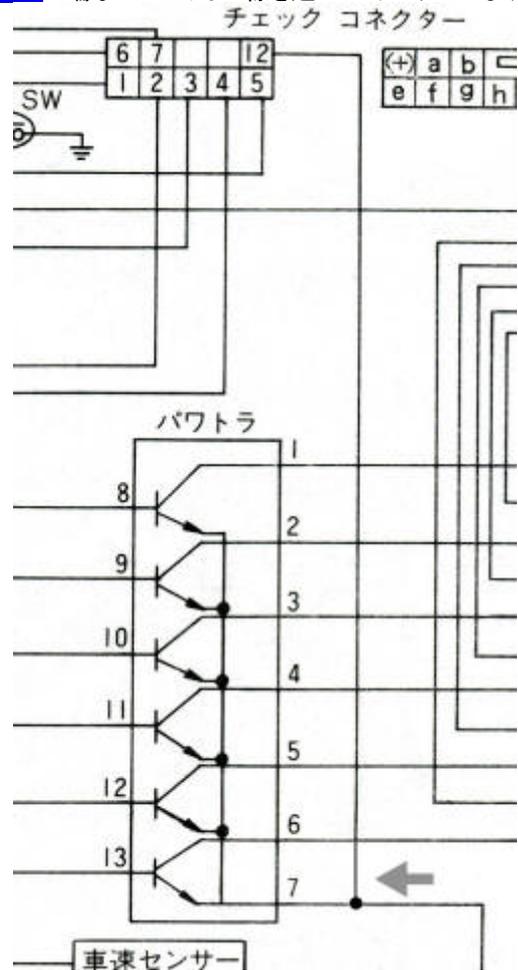
資料コード: A003015

NISSAN セドリックシーマ、グロリアシーマ 整備要領書(追補版I)
E-FPY31型、E-FPAY31型
昭和61年1月 1988

ページ	項目	変更内容および訂正
先頭ページ	はじめに 関連資料 新刊	下記の通り 訂正 する。 誤 2.NISSAN セドリック シーマ、グロリア シーマ FPY31型系車 配線図集 追補版 I (A103017) 正 2.NISSAN セドリック シーマ、グロリア シーマ FPY31型系車 配線図集 追補版 I (A103019)
B-19	B2 VG30型DOHC・EGI(ECCS)仕様、VG30型DOHC・EGI(ECCS)仕様ターボチャージャー付エンジン(エンジン調整) 7. 燃料蒸発(エボパ)ガス抑止装置の点検 8. ブローバイガス抑止装置の点検	ページタイトルを下記の通り 訂正 する。 誤 B2 VG20DE、DET・エボパ、ブローバイガス点検 正 B2 VG30DE、DET・エボパ、ブローバイガス点検
B-54	B3 ECCS・システム図及び回路図 4-3 回路図	下記の通り 訂正 する。 誤 回路図中のECCSコントロールユニットの端子No.107が他のアースラインにつながない。  正 回路図中のECCSコントロールユニットの端子No.107を他のアースラインにつなげる。 
		下記の通り 訂正 する。 誤 <u>チェックコネクタ</u> の端子No.12がアースにつながない。



[チェックコネクタ](#)の端子No.12からの線を延ばしてアースにつなげる。

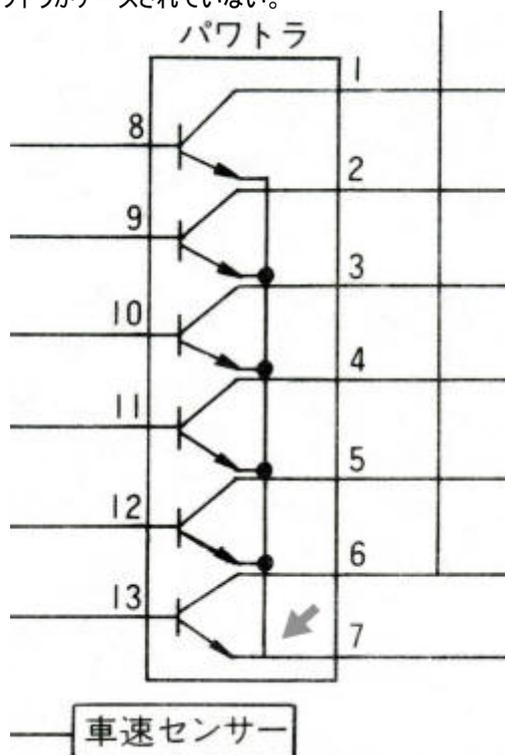


正

下記の通り訂正する。

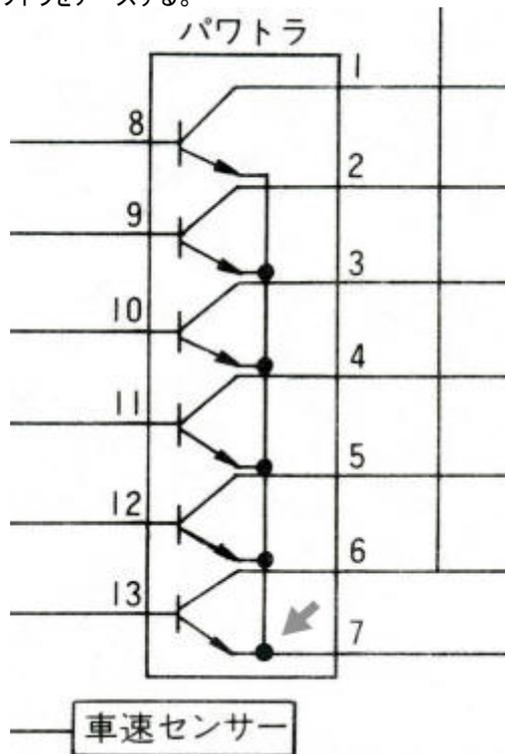
一番下のパワトラがアースされていない。

誤



一番下のパワトラをアースする。

正



B-72、
B-73

B3 ECCS・可変吸気コントロールバルブシステムの点検
5-5 可変吸気コントロールバルブシステムの点検

図中の「可変吸気コントロールソレノイド」は、「過給圧コントロールソレノイド」と逆の場合もある。

B-76

B3 ECCS・燃圧コントロールシステムの点検
5-7 燃圧コントロールシステムの点検 (VG30DET)

下記の通り訂正する。

誤

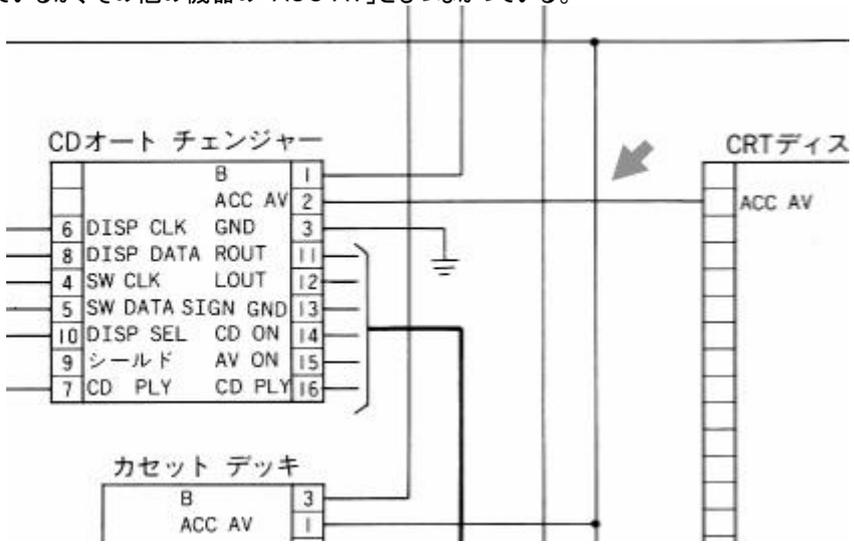


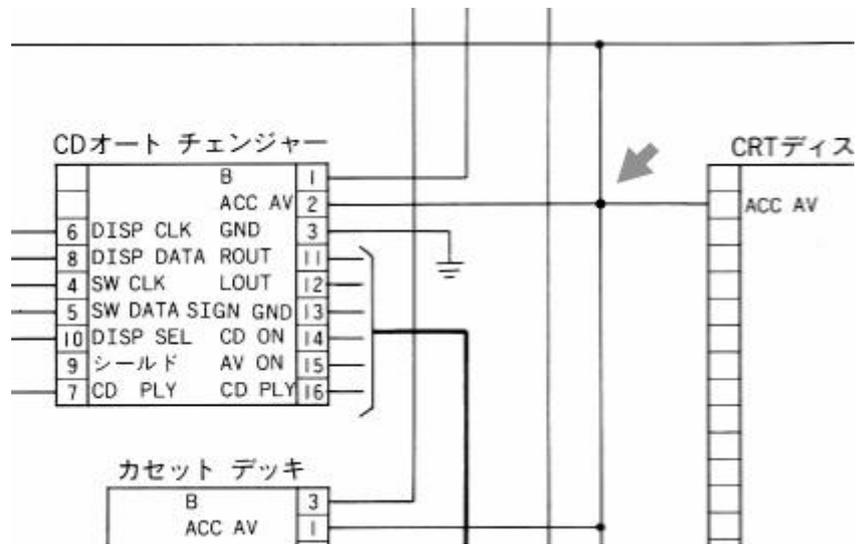
	(2) 燃圧コントロール ソレノイド制御信号の点検	正	キー スイッチ "ON"時	電源電圧																										
B-76、 B-77	B3 ECCS・燃圧コントロール システムの点検 5-7 燃圧コントロール システムの点検 (VG30DET) (2) 燃圧コントロール ソレノイド制御信号の点検 (3) ハーネス導通点検 (4) 燃圧コントロール ソレノイドバルブの単体点検	誤	エンジン仕様	VG30DE、DET																										
		正	エンジン仕様	VG30DET																										
B-79	B3 ECCS・過給圧制御システムの点検 5-9 過給圧コントロールシステムの点検 (VG30DET)		図中の「過給圧コントロール ソレノイド」は、「可変吸気コントロール ソレノイド」と逆の場合もある。																											
B-127	B4 車載上のエンジン整備・タイミングベルト脱着 【ポイント13】タイミング ベルト張り調整	誤	オート テンショナーのスプリング セット荷重変更のため、下記の通り訂正する。 (ホ) オート テンショナーの後部をプッシュプル ゲージ(特殊工具)で約6kgで押し、ボルト3本を締め付ける。(たわみ量が基準値外になったときには、オート テンショナー後部押力を変える。) (ト) A、B、C、D点に左図の鉄板を用意し、プッシュプル ゲージで中央を約約5kgで押し、たわみ量を測定する。																											
		正	たわみ量 : 各点が6~7mm又は (5kg時) $\frac{A + B + C + D}{4} \text{ で } 6 \sim 7 \text{ mm}$ (ホ) オート テンショナーの後部をプッシュプル ゲージ(特殊工具)で約Wkgで押し、ボルト3本を締め付ける。(たわみ量が基準値外になったときには、オート テンショナー後部押力を変える。) (ト) A、B、C、D点に左図の鉄板を用意し、プッシュプル ゲージで中央を約約5kgで押し、たわみ量を測定する。																											
			たわみ量 : 各点が δ mm 又は $\frac{A + B + C + D}{4} \text{ で } \delta \text{ mm}$																											
			・(ホ)のWkg及び(ト)の δ はオート テンショナーにより下記とする。																											
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>部番</th> <th>識別色</th> <th>W kg</th> <th>δ mm</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13070-45V00</td> <td>白ペンキ</td> <td>約7.5</td> <td>5.5~6.5</td> </tr> <tr> <td>13070-F6502</td> <td>黄ペンキ</td> <td>約6</td> <td>6~7</td> </tr> </tbody> </table>		部番	識別色	W kg	δ mm	13070-45V00	白ペンキ	約7.5	5.5~6.5	13070-F6502	黄ペンキ	約6	6~7														
部番	識別色	W kg	δ mm																											
13070-45V00	白ペンキ	約7.5	5.5~6.5																											
13070-F6502	黄ペンキ	約6	6~7																											
C-19	C1 オートマチック トランスミッション 2. 車載上の点検及び調整 2-9 電気系統点検 (1) コントロール ユニット点検 点検基準値	誤	下記の通り訂正する。																											
		正	<table border="1"> <tbody> <tr> <td rowspan="2">34</td> <td rowspan="2">31又は32</td> <td>1.5~2.5</td> <td>暖機後、スロットル全閉時(エンジン停止、キー ON)</td> <td rowspan="4">ライン圧ソレノイド</td> </tr> <tr> <td>0.5以下</td> <td>暖機後、スロットル全開時(エンジン停止、キー ON)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">38</td> <td rowspan="2">31又は32</td> <td>5~14</td> <td>暖機後、スロットル全閉時(エンジン停止、キー ON)</td> </tr> <tr> <td>0.5以下</td> <td>暖機後、スロットル全開時(エンジン停止、キー ON)</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <tbody> <tr> <td rowspan="2">34</td> <td rowspan="2">31又は32</td> <td>1.5~2.5</td> <td>暖機後、スロットル全閉時(エンジン停止、キー ON)</td> <td rowspan="4">ライン圧ソレノイド</td> </tr> <tr> <td>0.5以下</td> <td>暖機後、スロットル全開時(エンジン停止、キー ON)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">33</td> <td rowspan="2">31又は32</td> <td>5~14</td> <td>暖機後、スロットル全閉時(エンジン停止、キー ON)</td> </tr> <tr> <td>0.5以下</td> <td>暖機後、スロットル全開時(エンジン停止、キー ON)</td> </tr> </tbody> </table>		34	31又は32	1.5~2.5	暖機後、スロットル全閉時(エンジン停止、キー ON)	ライン圧ソレノイド	0.5以下	暖機後、スロットル全開時(エンジン停止、キー ON)	38	31又は32	5~14	暖機後、スロットル全閉時(エンジン停止、キー ON)	0.5以下	暖機後、スロットル全開時(エンジン停止、キー ON)	34	31又は32	1.5~2.5	暖機後、スロットル全閉時(エンジン停止、キー ON)	ライン圧ソレノイド	0.5以下	暖機後、スロットル全開時(エンジン停止、キー ON)	33	31又は32	5~14	暖機後、スロットル全閉時(エンジン停止、キー ON)	0.5以下	暖機後、スロットル全開時(エンジン停止、キー ON)
34	31又は32	1.5~2.5	暖機後、スロットル全閉時(エンジン停止、キー ON)	ライン圧ソレノイド																										
		0.5以下	暖機後、スロットル全開時(エンジン停止、キー ON)																											
38	31又は32	5~14	暖機後、スロットル全閉時(エンジン停止、キー ON)																											
		0.5以下	暖機後、スロットル全開時(エンジン停止、キー ON)																											
34	31又は32	1.5~2.5	暖機後、スロットル全閉時(エンジン停止、キー ON)	ライン圧ソレノイド																										
		0.5以下	暖機後、スロットル全開時(エンジン停止、キー ON)																											
33	31又は32	5~14	暖機後、スロットル全閉時(エンジン停止、キー ON)																											
		0.5以下	暖機後、スロットル全開時(エンジン停止、キー ON)																											
C-81	C7 電子制御エアサスペンション		下記の通り訂正する。																											

	<p>5. 故障診断</p> <p>5-1 現象別故障診断</p> <p>(1) 車高調整不良</p> <p>⑦後輪側のみが高くない。又は、エクストラ ハイしない。(右左いずれかの場合を含む)</p>	<p>誤 リヤ車高センサーがフェイル セーフに入っている【ポイント11】</p> <p>正 リヤ車高センサーがフェイル セーフに入っている【ポイント7】</p>																		
C-82	<p>C7 電子制御エアサスペンション</p> <p>5. 故障診断</p> <p>5-1 現象別故障診断</p> <p>(1) 車高調整不良</p> <p>⑧後輪側のみが低くない。又、エクストラ ハイの解除しない。</p>	<p>下記の通り訂正する。</p> <p>誤 リヤ車高センサーがフェイル セーフに入っている【ポイント11】</p> <p>正 リヤ車高センサーがフェイル セーフに入っている【ポイント7】</p>																		
C-113	<p>C9 ブレーキ</p> <p>1. 概要</p> <p>点検基準値</p>	<p>点検基準値の項目に下表の「ブレーキのきき」を追加する。</p> <table border="1" data-bbox="700 645 1355 840"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目</th> <th colspan="2">点検調整値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">ブレーキのきき</td> <td rowspan="2">判定基準制動力</td> <td>後輪 (kg以上)</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>総和 (kg以上)</td> <td>985</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">整備後の制動力</td> <td>後輪 (kg以上)</td> <td>320</td> </tr> <tr> <td>総和 (kg以上)</td> <td>930</td> </tr> <tr> <td>制動停止距離(m)</td> <td colspan="2">16.0</td> </tr> </tbody> </table>	項目		点検調整値		ブレーキのきき	判定基準制動力	後輪 (kg以上)	400	総和 (kg以上)	985	整備後の制動力	後輪 (kg以上)	320	総和 (kg以上)	930	制動停止距離(m)	16.0	
項目		点検調整値																		
ブレーキのきき	判定基準制動力	後輪 (kg以上)	400																	
		総和 (kg以上)	985																	
	整備後の制動力	後輪 (kg以上)	320																	
		総和 (kg以上)	930																	
制動停止距離(m)	16.0																			
F-2	<p>F1 新車点検及び定期点検整備基準値</p> <p>1. エンジン</p>	<p>エンジン本体-圧縮圧力の値を下表の通り訂正する。</p> <p>圧縮圧力</p> <table border="1" data-bbox="762 992 1291 1447"> <thead> <tr> <th></th> <th>VG30DE</th> <th>VG30DET</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">標準値</td> <td>誤 12.8/300 ↓ 正 13.1/300</td> <td>誤 (空白) ↓ 正 12.0/300</td> </tr> <tr> <td>誤 9.8/300 ↓ 正 10.0/300</td> <td>誤 (空白) ↓ 正 9.0/300</td> </tr> <tr> <td>各気筒間差限度</td> <td>1.0/300</td> <td>誤 (空白) ↓ 正 1.0/300</td> </tr> </tbody> </table>		VG30DE	VG30DET	標準値	誤 12.8/300 ↓ 正 13.1/300	誤 (空白) ↓ 正 12.0/300	誤 9.8/300 ↓ 正 10.0/300	誤 (空白) ↓ 正 9.0/300	各気筒間差限度	1.0/300	誤 (空白) ↓ 正 1.0/300							
	VG30DE	VG30DET																		
標準値	誤 12.8/300 ↓ 正 13.1/300	誤 (空白) ↓ 正 12.0/300																		
	誤 9.8/300 ↓ 正 10.0/300	誤 (空白) ↓ 正 9.0/300																		
各気筒間差限度	1.0/300	誤 (空白) ↓ 正 1.0/300																		
F-5	<p>F2 定期交換部品</p> <p>2. シャシー</p>	<p>下表のシャシー適用部品を削除する。</p> <table border="1" data-bbox="655 1574 1399 1646"> <thead> <tr> <th></th> <th>適用</th> <th>定期交換時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マニュアル トランスミッション オイル</td> <td>事業用等のみ</td> <td>100,000km又は2年ごと</td> </tr> </tbody> </table> <p>下表のシャシー適用部品を追加する。</p> <table border="1" data-bbox="716 1780 1340 1915"> <thead> <tr> <th></th> <th>適用</th> <th>定期交換時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パワー ステアリング ホース</td> <td>事業用</td> <td>2年ごと</td> </tr> <tr> <td>ホイール ベアリング グリース</td> <td>事業用</td> <td>120,000km又は2年ごと</td> </tr> <tr> <td>オートマチック フルード</td> <td>事業用</td> <td>100,000kmごと</td> </tr> </tbody> </table>		適用	定期交換時期	マニュアル トランスミッション オイル	事業用等のみ	100,000km又は2年ごと		適用	定期交換時期	パワー ステアリング ホース	事業用	2年ごと	ホイール ベアリング グリース	事業用	120,000km又は2年ごと	オートマチック フルード	事業用	100,000kmごと
	適用	定期交換時期																		
マニュアル トランスミッション オイル	事業用等のみ	100,000km又は2年ごと																		
	適用	定期交換時期																		
パワー ステアリング ホース	事業用	2年ごと																		
ホイール ベアリング グリース	事業用	120,000km又は2年ごと																		
オートマチック フルード	事業用	100,000kmごと																		

資料コード: A003016

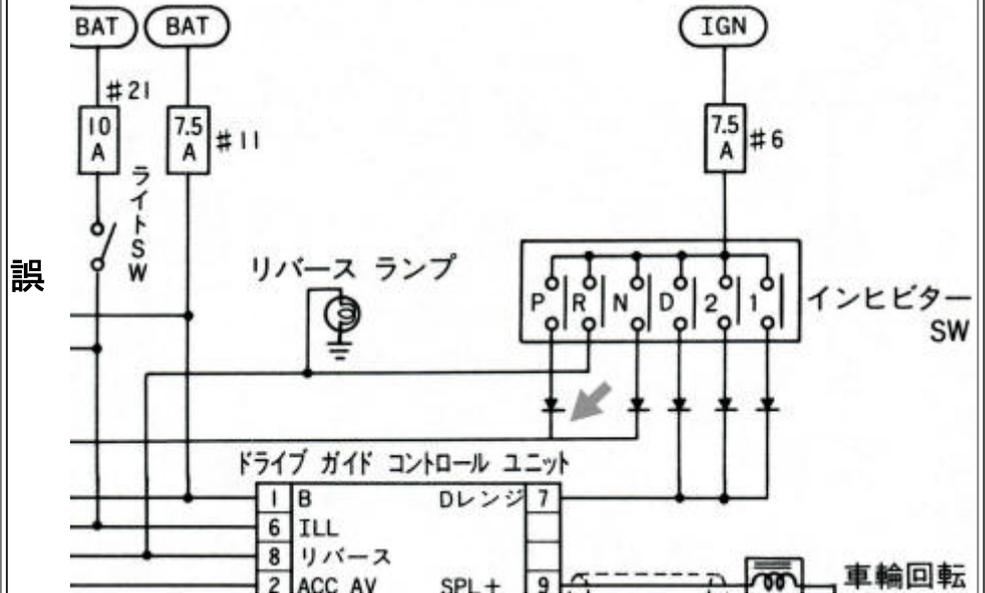
NISSAN セドリック、グロリア 整備要領書(追補版II)
 E-Y31型、E-PY31型、E-PAY31型、Q-UY31型
 1989年6月

ページ	項目	変更内容および訂正
B-19	B2 VG20型 EGI(ECCS)仕様、VG30型 EGI(ECCS)仕様、VG30型 EGI(ECCS)仕様ターボチャージャー付エンジン 5. 吸排気系の点検 5-1 エアークリーナーエレメントの点検 点検	下記の通り 訂正 する。 誤 ・左図のボルトを外す。 正 ・左図のバンドクリップを外す。
C-51	C1 オートマチックトランスミッション 3. 故障診断 3-1 故障診断手順 3-5 各部品点検調整 (2)電気系統点検 ①コントロールユニット点検 (RE5R01A型、RE4R01A型)	下記の通り 訂正 する。 誤 注: A/Tコントロールユニット はダッシュサイドロア右側のECCSコントロールユニット裏側に取り付けられている。 正 注: A/Tコントロールユニット はダッシュサイドロア右側に取り付けられている。
E-28	E4 マルチAVシステム 3. システム図	図中の配線を下記の通り 訂正 する。 CDオートチェンジャーの端子No.2の「ACC AV」は CRTディスプレイ の「ACC AV」とつながっているが、その他の機器の「ACC AV」ともつながっている。  <p>誤</p> <p>正 線のクロス部分に黒丸入れる。</p>

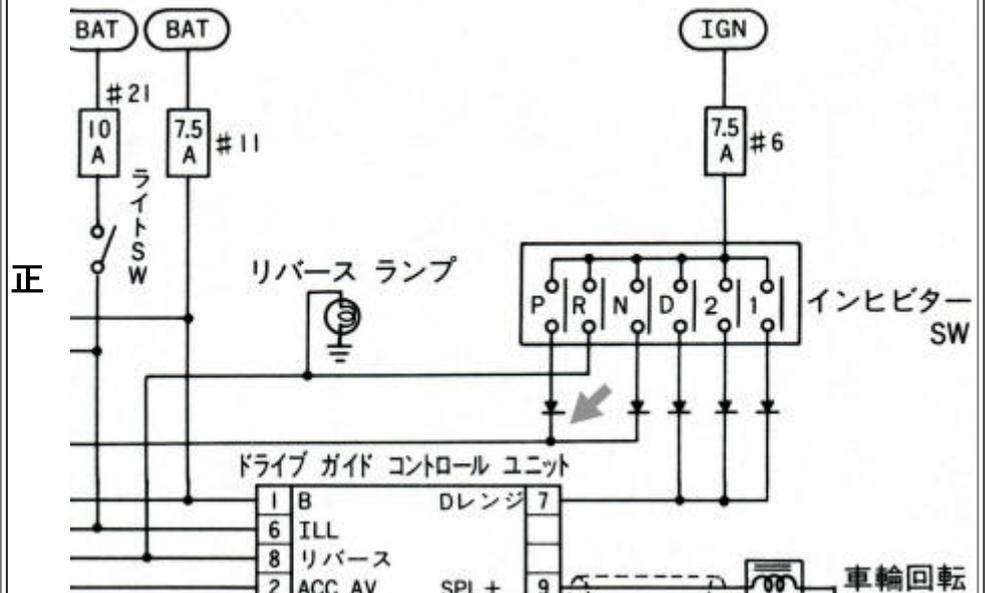


図中の配線を下記の通り**訂正**する。

インヒタースイッチのPの配線がNの配線とつながっていない。



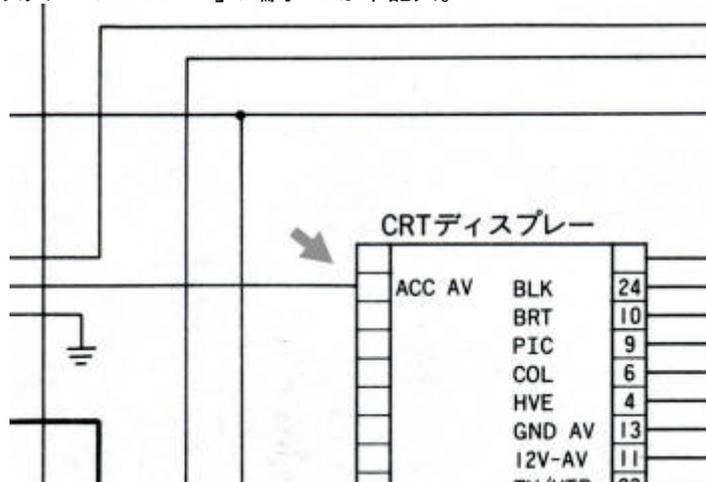
インヒタースイッチのPの配線をNの配線とつなげる。



下記の通り**追加**する。

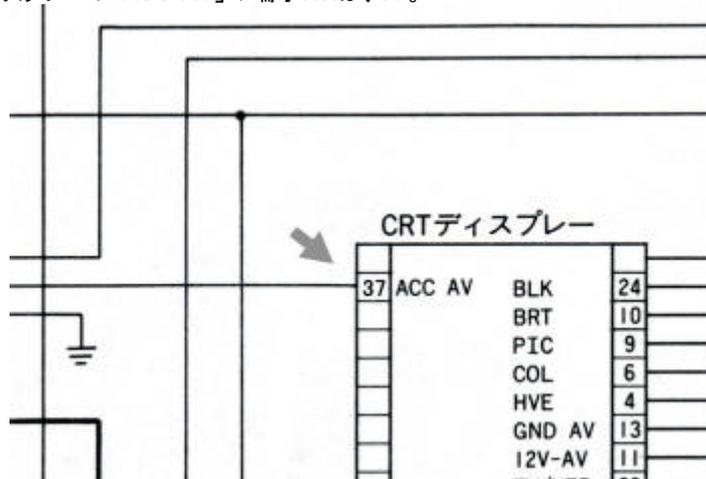
CRTディスプレイの「ACC AV」の端子No.が未記入。

誤

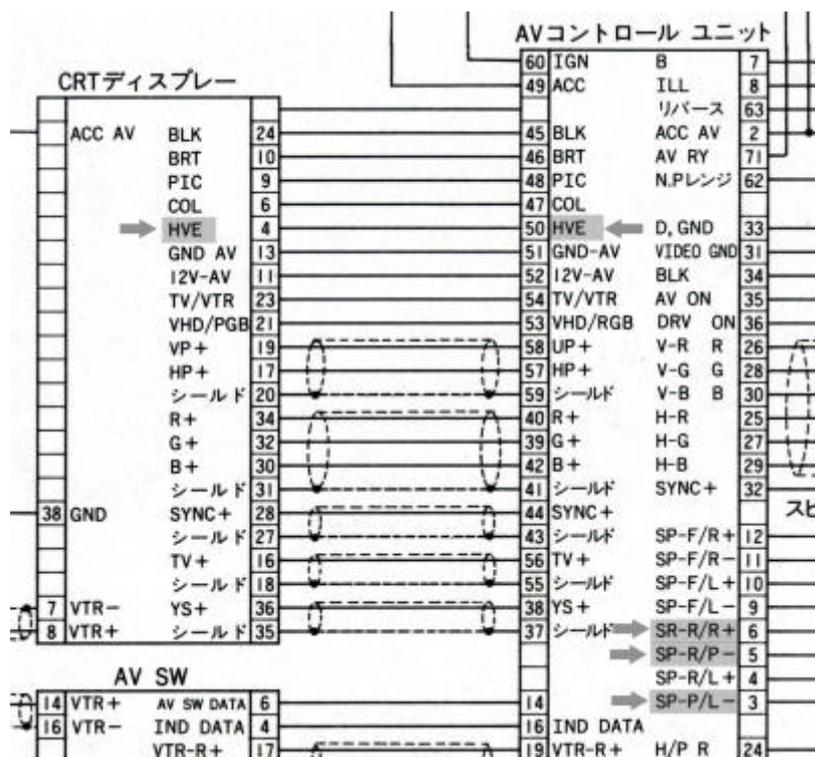


CRTディスプレイの「ACC AV」の端子No.は、37。

正



下記の通り訂正する。



誤 → 正
HVE → HUE
SR-R/R+ → SP-R/R+
SP-R/P- → SP-R/R-
SP-P/L- → SP-R/L-

E-32

E4 [マルチAVシステム](#)
4. 各端子の信号内容
(1) [AVコントロールユニット](#)

下記の通り訂正する。

誤	64	RKB	入力	パーキングブレーキ信号
正	64	PKB	入力	パーキングブレーキ信号

E-45

E4 [マルチAVシステム](#)
5. センサー調整
5-2 工場出荷時、ユニット交換時補正
S-15~17

下記の通り追加する。

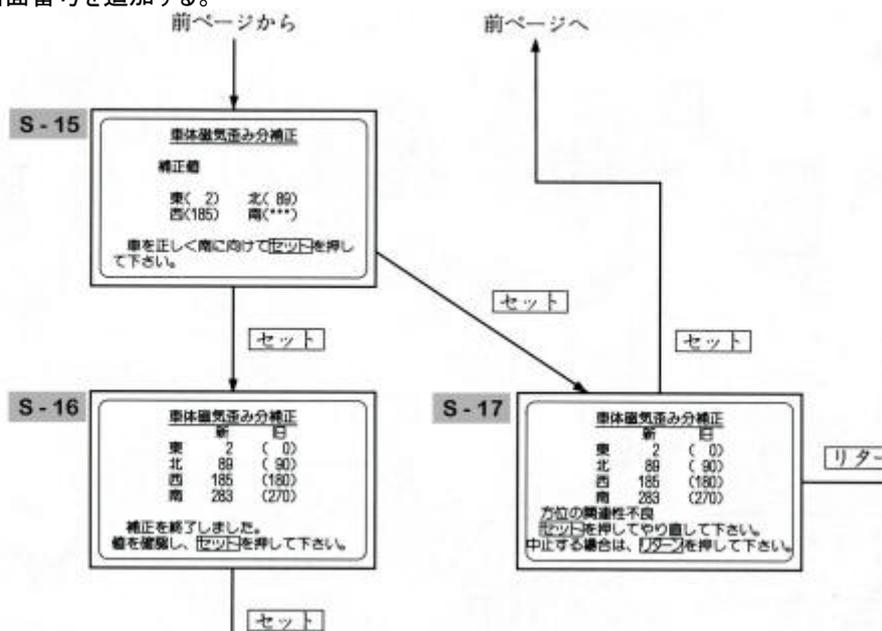
画面番号がない(画面番号はE-49ページで使われる)。

誤



画面番号を追加する。

正



E-45

E4 [マルチAVシステム](#)
5. センサー調整

下記の通り訂正する。

誤 [メニュー画面]

	<p>5-3 方位補正 S-1</p>	<p>正</p> <p>…、カーソルを工場出荷時補正に合わせる。</p> <p>[メニュー画面]</p> <p>…、カーソルを方位補正に合わせる。</p>
<p>E-47</p>	<p>E4 マルチAVシステム 5. センサー調整 5-4 タイヤ交換時補正 S-1</p>	<p>誤</p> <p>下記の通り訂正する。</p> <p>[メニュー画面]</p> <p>…、カーソルを工場出荷時補正に合わせる。</p> <p>正</p> <p>[メニュー画面]</p> <p>…、カーソルをタイヤ交換時補正に合わせる。</p>
	<p>E4 マルチAVシステム 5. センサー調整 5-4 タイヤ交換時補正 S-3</p>	<p>誤</p> <p>215/60 R15 F-Y31タイプI-S</p> <p>正</p> <p>215/60 R15 F-Y31タイプII-S</p>
	<p>E4 マルチAVシステム 5. センサー調整 5-4 タイヤ交換時補正 [左右車輪速センサー補正]</p>	<p>誤</p> <p>下記の通り訂正する。</p> <p>左右車輪速センサー補正の入力データ異常時の画面番号がS-6。</p> <p>正</p> <p>左右車輪速センサー補正の入力データ異常時の画面番号をS-7にする。</p>

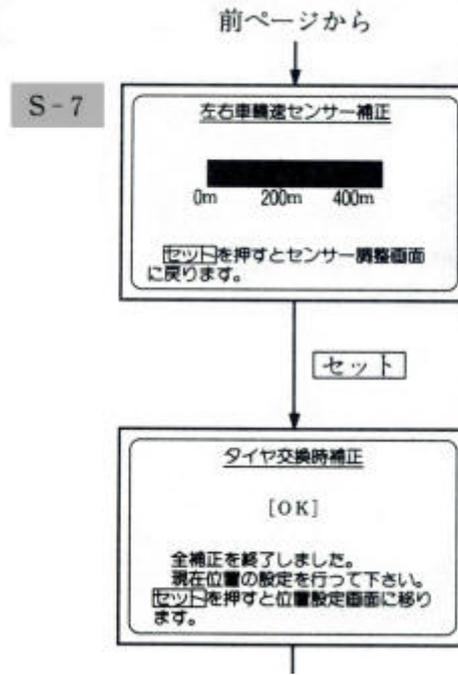
E-48

E4 [マルチAVシステム](#)

- 5. センサー調整
- 5-4 タイヤ交換時補正
- [左右車輪速センサー補正]

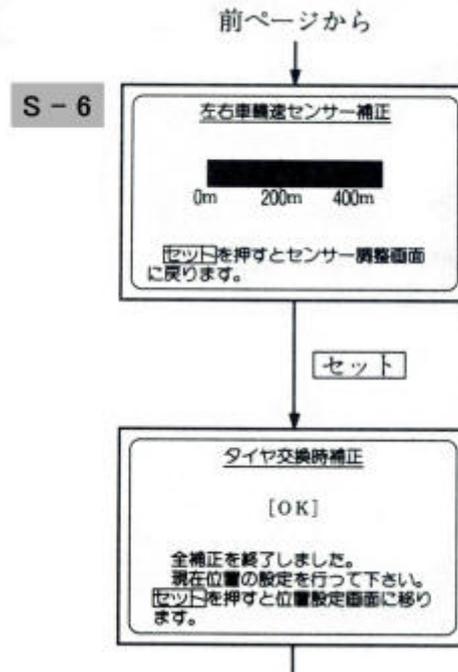
下記の通り訂正する。

左右車輪速センサー補正の補正終了時の画面番号がS-7。



誤

左右車輪速センサー補正の補正終了時の画面番号をS-6にする。



正

E4 [マルチAVシステム](#)

- 5. センサー調整
- 5-5 距離微調整
- S-2

下記の通り訂正する。

誤 [左右車輪速センサー補正]

正 [距離微調整]

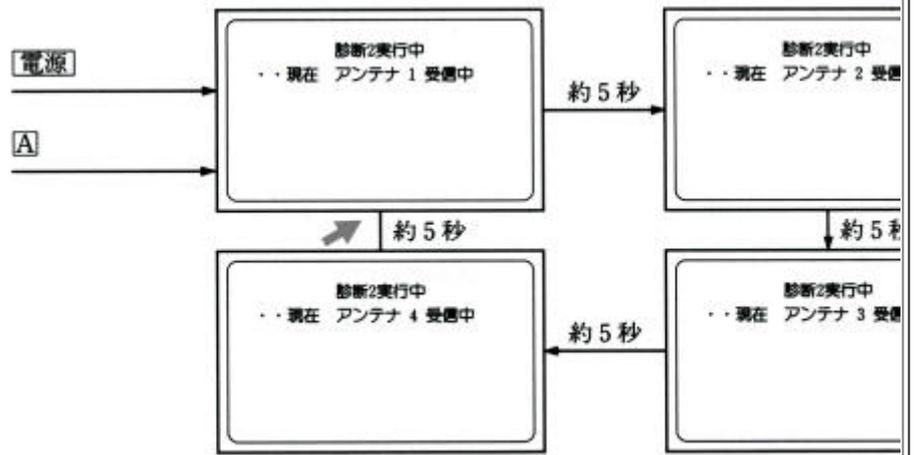
E-54

E4 [マルチAVシステム](#)

- 6. 故障診断
- 6-2 AVシステムの自己診断
- (4) 診断2
- ① 診断2-1 (アンテナ信号の点検)

下記の通り訂正する。

誤 矢印がない。



矢印を付ける。



正

資料コード: A003018

NISSAN セドリック シーマ、グロリア シーマ整備要領書(追補版III)
E-FPY31型、E-FPAY31型
1989年8月

ページ	項目	変更内容および訂正
B-36	B3 ECCS(エンジン集中電子制御システム)系統 1. 故障診断 1-3 現象別診断チャート項目 (1) 始動不能-初爆がない [考え方]	下記の通り 訂正 する。 誤 インジェクターはOKだが、火花が飛ばないとき、コントロールユニット及びクランク角センサーはOKと判断できるので、点火出力系(パワトラ、イグニッション、コイルなど)を見る。 正 インジェクターはOKだが、火花が飛ばないとき、コントロールユニット及びクランク角センサーはOKと判断できるので、点火出力系(パワトラ、イグニッション コイルなど)を見る。
C-27	C1 オートマチック トランスミッション 3. 故障診断	下記の通り 訂正 する。 誤 注意: <u>A/Tコントロールユニット</u> はダッシュ サイド ロア右側のECCSコントロールユニット裏側に取り付けられている。

<p>3-4 各部位の点検及び調整</p> <p>(2) 電気系統点検</p> <p>①コントロール ユニット点検</p>	<p>正 注意:A/Tコントロール ユニットはダッシュ サイド ロア右側に取り付けられている。</p>
<p>C-84</p> <p>C3 ステアリング</p> <p>3. コントロール ユニットの故障診断</p> <p>3-2 故障診断</p> <p>(1) 据え切り時ステアリング重い</p> <p>②フロー チャート(据え切り時ステアリング重い)</p>	<p>下記の通り訂正する。</p> <p>誤 ストップ ランプSW正常時 ストップ ランプSW異常時</p> <p>正 ストップ ランプSW正常時 …ストップ ランプSW異常時</p>

[上のページへ](#)

関連ページ

- 基本資料 ~ [エンジン整備要領書の正誤表](#)
- 基本資料 ~ [サービス周報の正誤表](#)
- 基本資料 ~ [トランスミッション整備要領書の正誤表](#)
- 基本資料 ~ [配線図集の正誤表](#)
- 基本資料 ~ [部品カタログの正誤表](#)
- 基本資料 ~ [正誤表の正誤表](#)

スポンサーリンク

[ホーム](#) | [サイトマップ](#) | [このサイトについて](#) | [ご利用条件](#) | [プライバシーポリシー](#)